JUnit で TDD

TDDとは

- テスト駆動開発
 - <Test Driven Development>
- プログラム開発手法の一種
- アジャイルソフトウェア開発手法にて推奨される
 - アジャイル <agile> = 迅速に
- 短い工程を繰り返す
 - イテレーションプロセス

イテレーションのイメージ

よくあるウォーターフロープロセス

±6% Δν =π. = I	=¥	C 1+	₩ / 土 = → ı	4+ ∧ − → 1	
機能設計	詳細設計	実装	単体テスト	結合テスト	

自モジュールの開発を短いサイクルでイテレーションさせてみた場合

機能設計	詳細設計	実装	単体テスト	詳細設計	実装	単体テスト	詳細設計	実装	単体テスト	結合テスト
	itelation-1			itelation-2		itelation-3		-3		

TDDのプロセス

- 基本となるサイクルは下記の3つ
 - 失敗するテストを書く
 - できる限り早く,テストがパスするような最小限の コード本体を書く
 - コードの重複を除去する
- 上記は、それぞれ、下記のように呼ばれること もある
 - Red
 - Green
 - Refactor

TDDの利点

クリーンでかつ動作するという2つのことを同時に考えるのは困難なので、まず動作するものを作り、次にクリーンにする

SO THE TEST THE TEST THE TEST THE TEST THE TEST TO

- テストのパスにより,進捗が後戻りしないことを確認できる
- 短いサイクルなので、設計の決定がすぐにテストコードの実装で良し悪しが判断でき、実装の決定がすぐにテストの実行で良し悪しが判断できる

TDDの利点

テストを通していることが手順に含まれているので、基本的にすべての成果物でテストが通っているため、バグを少なく抑えることが期待できる

the country of the co

- 具象的なコードから始まり,適切な抽象化で抑えられる
 - 過度な抽象化は保守のコストがかかってしまう
 - 現在の仕様に対応するだけのシンプルさを保てる

TDDに向いていないもの

- 並列処理
 - 再現性に問題がある
- GUI を扱うもの
- 外部ツールで自動生成されるコード
- すでに構築してあるコード (レガシーコード)
 - テストをしやすいようにできていないのでリファクタ リングをする必要がある
 - リファクタリングしたあとの動作を保証したいのでテストが必要

JUnitとは

- Java で開発されたプログラムにおいて,単体 テストの自動化を行うためのフレームワーク
- Smalltalk のテストのフレームワーク SUnit を元にして、SUnit の開発者のケント・ベックを中心に開発された
- Apache Ant や Eclipse からも利用可能
- テスト重視の開発プロセスでは JUnit や他の 言語向けの同等のツール (xUnit) がよく利用される

JUnitの利点

- 一度作成すれば、誰でも、何度でも同じテストを実行できる
- テストコードを見ると仕様が理解できる
- フレームワークを使えば、テストの作成が早くなり、また、別のターゲットに対してでもテストの作成のノウハウを生かせるため、知識を再利用できる
- OK のときの緑色のバーを見ると気分がよくなる(作者談)

Demo: Android Test Project

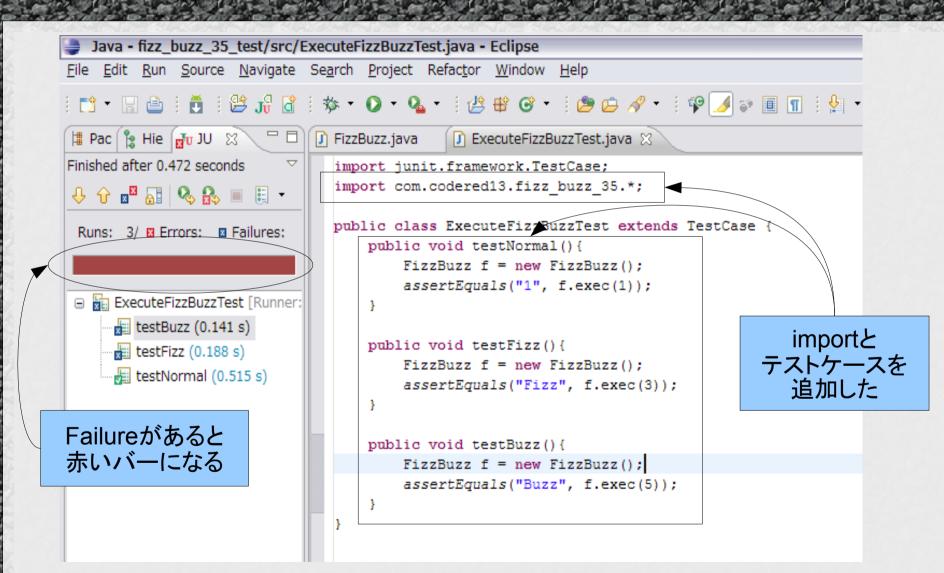
概要

- Eclipse で Android のプロジェクト作成時に テスト用のプロジェクトを同時に作成し、テスト駆動開発でアプリケーションを作成する
- FizzBuzz を表示するアプリケーションを作成 する
 - FizzBuzz の仕様
 - 1 から順に数値を表示する
 - 3 の倍数は数値の変わりに `Fizz' を表示
 - 5 の倍数は数値の変わりに `Buzz' を表示
 - **3** の倍数かつ **5** の倍数は数値の変わりに `**FizzBuzz'** を表示

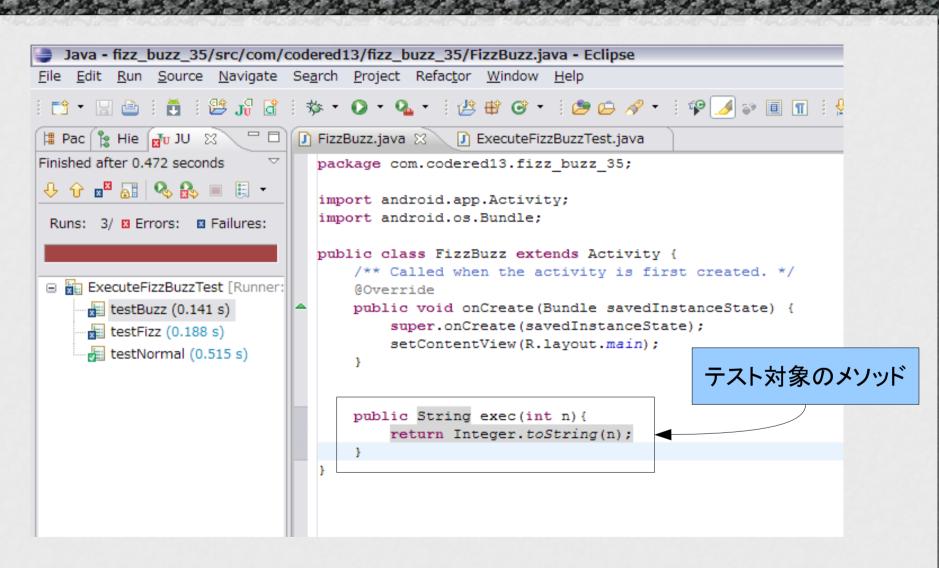
まず, プロジェクト作成

- Eclipse で Android プロジェクト作成し、同時にテスト用プロジェクトも作成しておく
- このときのキャプチャ撮るの忘れてた
- 説明見ればなんとなくできるはずなので,詳細 は試してみてください
- 私は、fizz_buzz_35 というプロジェクトと、fizz_buzz_35_test というプロジェクトを作りました

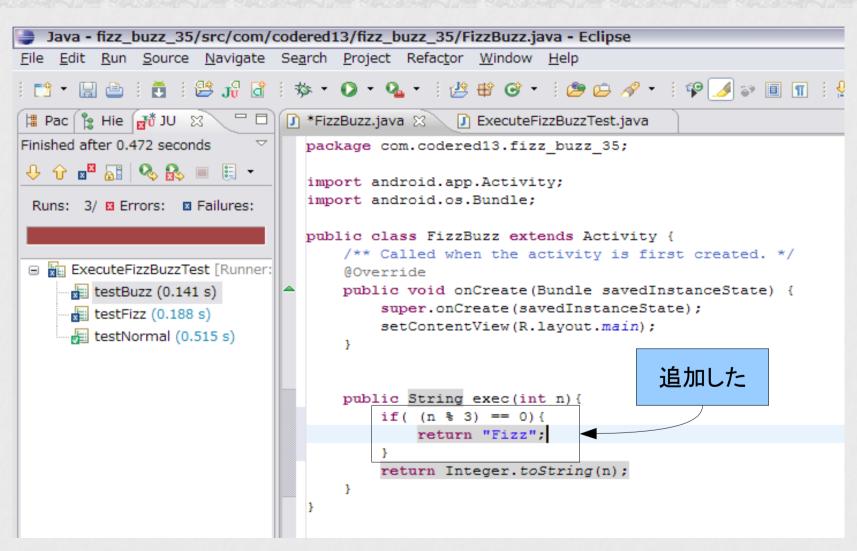
テストを作成する(RED)



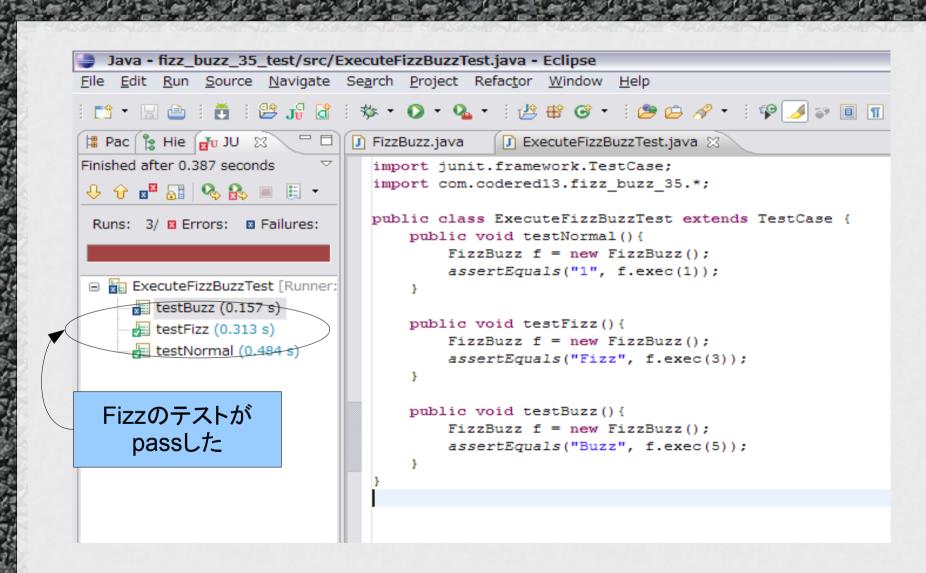
テスト対象のソースコード



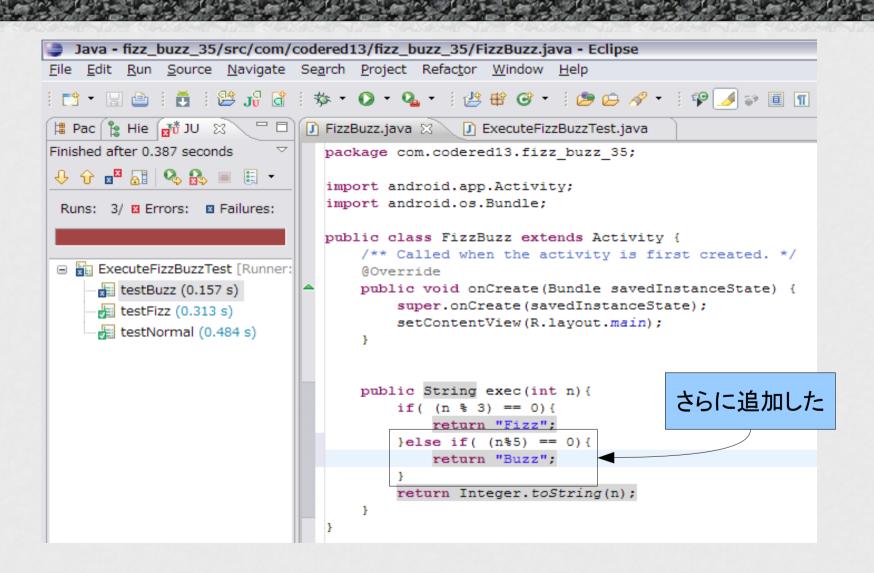
Fizzに対応してみる(→GREEN)



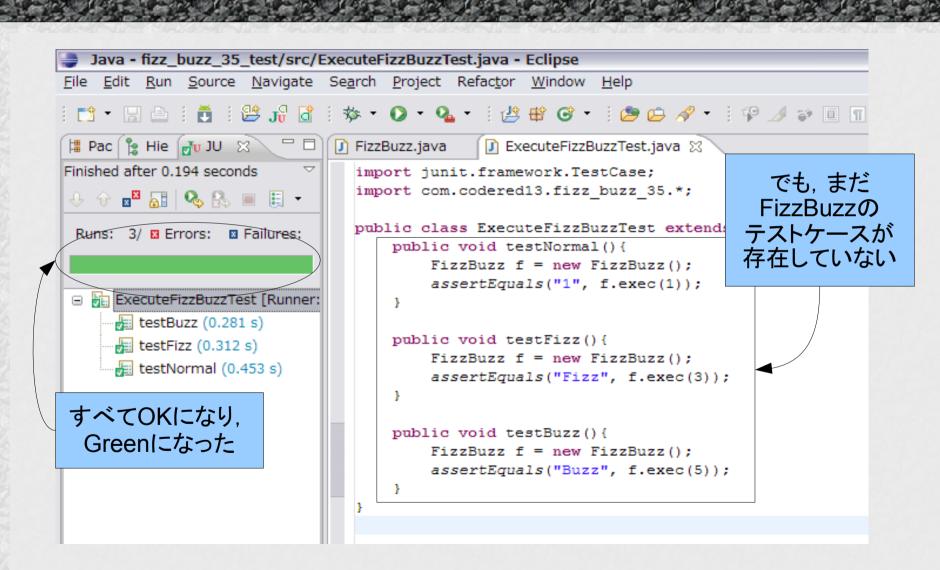
実装途中だけどテストを実行した



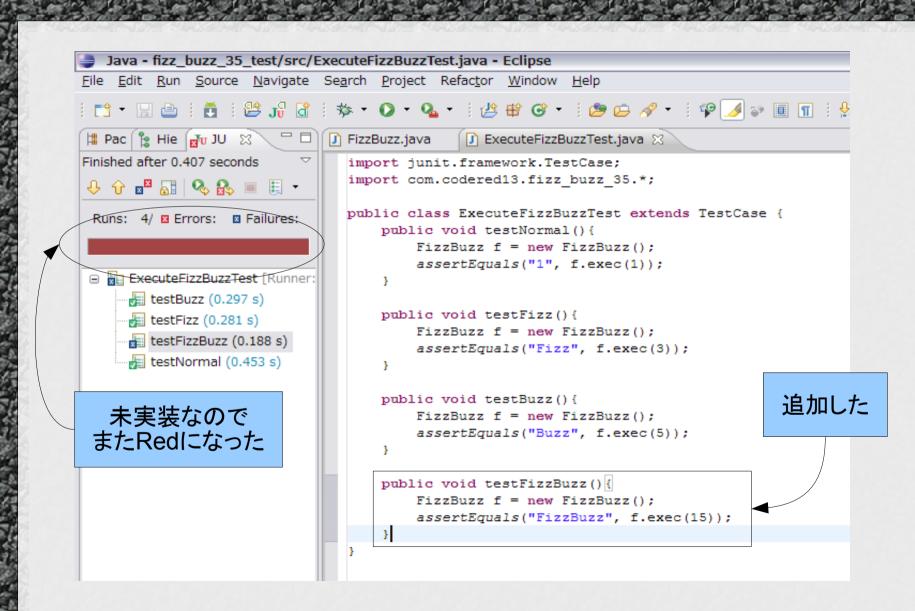
Buzz(こも対応(→GREEN)



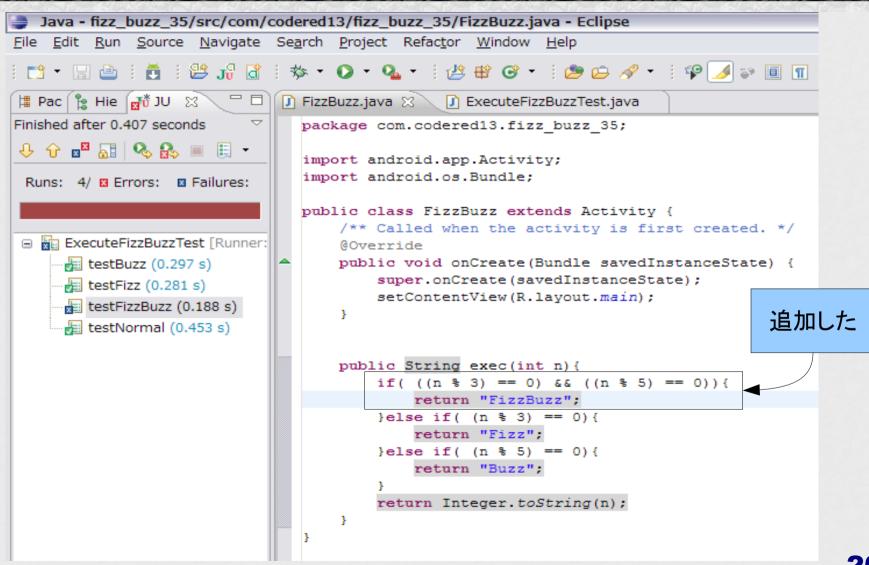
GREEN完了!



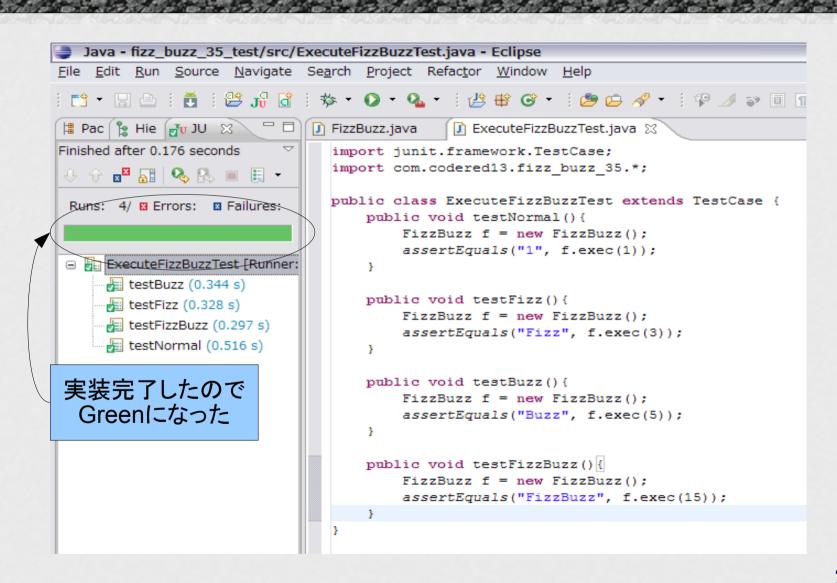
2週目のテスト実装(RED)



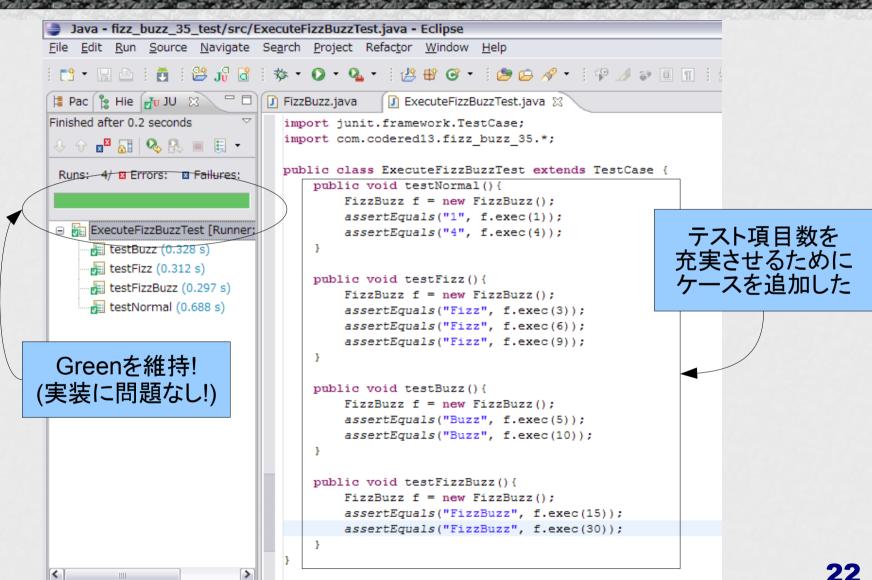
続いて,実装(→GREEN)



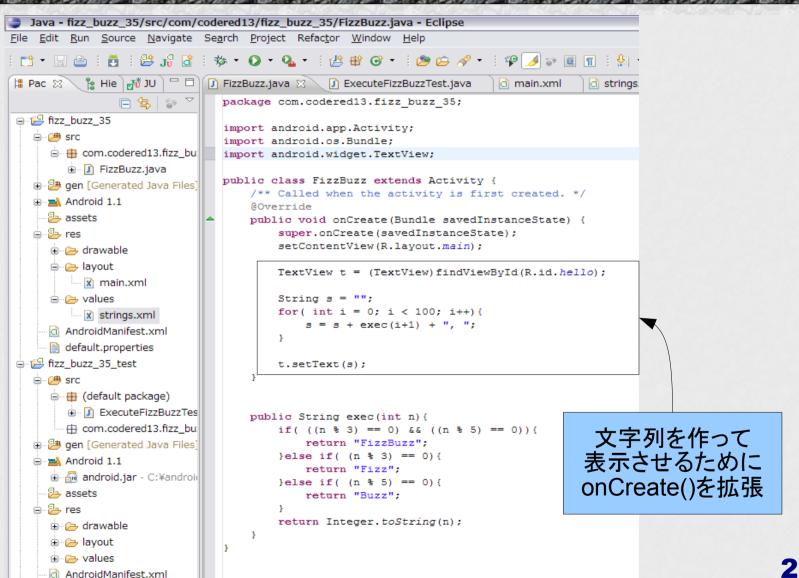
GREEN完了!! 2回目!!



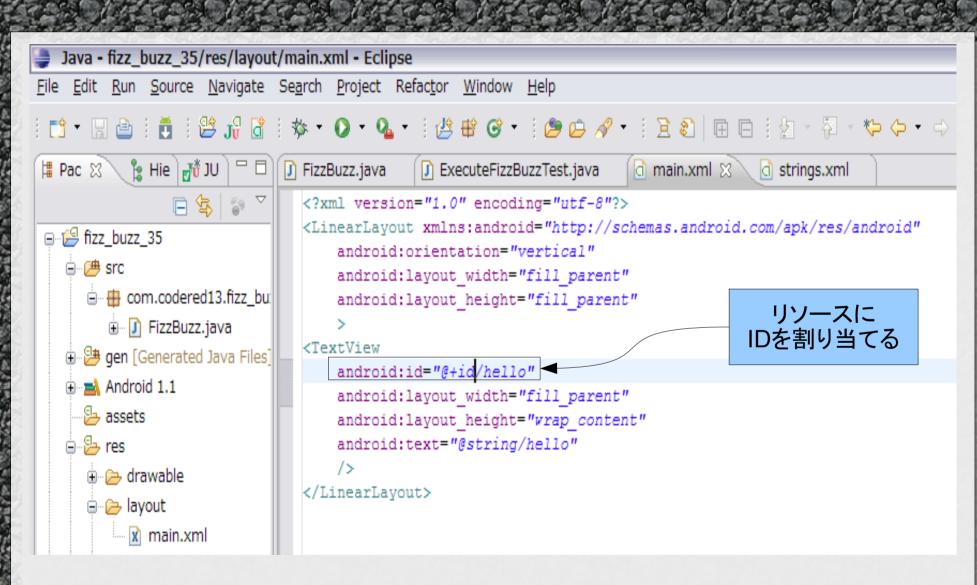
テストの増強



おまけ: アプリケーションが動くまで1



おまけ: アプリケーションが動くまで2



おしまい

